

裏面に掲載した写真に誤りがありましたので 修正版を出しました。

# 真龍小便り



平成30年11月1日発行 No.9

## 11月のこよみ

### 収穫の秋

校長 武田昌彦

先日、雪虫が飛び交うのを見ました。日に日に季節が移り変わっていることを知りました。ここ数ヶ月は台風や地震、停電があり、便利な物に頼りすぎ楽ができた分、か弱くなっていたことに反省させられました。そうこうするうちに11月を迎え、子ども達にとっても折り返しとなり、充実した後期となるための大事な時期となりました。

さて、10月28日(日)は、子ども達が楽しみにしていた二大行事の一つ「学習発表会」が開催されました。保護者の皆様には当日ご来校いただき、ありがとうございました。この日を迎えるまでに色々な学びがありました。もちろん課題も見つけることができました。その中から担任と子ども達で学級の和を一層強いものとするべく努力してきました。『虹 ～つくりだす みんなが主役のSTORY～』をテーマに準備を進めてきました。最初はなかなかエンジンがかからず間に合うのかと心配もしましたが、限られた時間の中でしっかり仕上げてきました。担任の指導と子ども達の頑張りを感しました。とは言え「無理」「できない」などマイナス発言を言うてしまう子もいました。「失敗しても挑戦してほしい」との願いはなかなか実行できるものではありませんね。しかし、それぞれの場面でそれぞれの役をまさに主役として活動し、その日を迎えることができた子ども達。一緒に活動する内にマイナスの発言をしていた子ども達もいつの間にかいなくなっていました。良い形で学級の力が発揮された瞬間でした。その成果は見ていただけたと思います。子ども達はこの行事を通して大きく成長しました。学級も個人も収穫が多い行事でした。保護者・地域の方など児童公開日を含め、たくさんの方々に早朝よりご来場いただきありがとうございました。あたたかなご声援、拍手などほめていただいたことが、子ども達にとって何よりのご褒美でした。感謝の気持ちでいっぱいです。そして、改めて真龍小の子ども達の純粋な心を見ることができました。6年生のサプライズ。感動させられました。その姿を保護者・地域の方に見ていただいたことが一番の成果だったのかも知れません。いつも見守っていただき感謝しています。子ども達はとても幸せな環境にいます。本当に有り難うございました。

日	曜	
1	木	特別日課 いじめアンケート実施
2	金	特別日課 委員会⑦
3	土	文化の日
4	日	鉶路管内PTA連合会研究大会・母親研修会標茶大会
5	月	朝会(講話) 生活リズムチェック週間(~11日) ほかほかタイム開始(~12/1)
6	火	
7	水	町内小中美術展(~19日) 運動の日
8	木	
9	金	特別日課 クラブ⑤
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	特別日課 クラブ⑥
17	土	町P連研究大会(真龍中会場)
18	日	町民文化祭芸能発表会
19	月	
20	火	
21	水	グラウンド納め(予定)
22	木	
23	金	PTA研修「ヨガ教室」 勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	校内作品展(~7日) 参観日1~4年
27	火	午前授業 特別日課
28	水	
29	木	保護者面談実施(12/26まで)
30	金	参観日5・6年

### 11月はPTAの活動が目白押しです！

11月は4日(日)に標茶小学校を会場に鉶P連研究大会・母親研修会大会が、17日(土)に真龍中学校を会場に町P連研究大会が、23日(金)に本校を会場にPTA研修の「ヨガ教室」が予定されています。ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

**【お願い】**  
11月17日の町P連大会の参加期待数35名のところ、3名しか申込がありませんでした。**PTA研修委員会の方は申し込まれていない方でも当日の参加ご協力をお願いします。**また委員以外で申し込まれていない方でも当日の参加大歓迎です。**9時30分受付で会場は真龍中学校**です。

### ぞうきんの寄贈

町内在住の有田様より、ぞうきんを寄贈していただきました。紙面を借りてお礼申し上げます。さっそく校内の日々の清掃活動に使わせていただきます。有田様、本当にありがとうございました。

## 子供たちが輝いた学習発表会

子ども達の発表は、どの学年も大変素晴らしく、鑑賞した皆様に感動を届けられたことと思います。そのような子ども達を支えてくれたのは、子ども達が発表に集中できるように会場の雰囲気を作っていたいただいた、保護者の皆様のおかげと大変感謝しております。



### 非常時の対応について（大規模停電から②）

先月号でも非常時の連絡対応についてお伝えしましたが、先月行われたPTA役員会でも話題になりました。改めて大規模停電からの教訓を元に確認させていただきます。

①大規模停電に伴い、電話やスマホ、パソコンからのメール等、一切の連絡手段が一時断たれてしまいました。町の防災無線だけが頼りでしたが、音が反響して聞き取れず、結局連絡が伝わらなかったご家庭もあったと報告を受けています。各家庭に設置している受信機は停電でも電池で作動しますが、電池切れになっていたり、音がうるさいと言うことでオフにしていたケースもあったようです。また入れっぱなしにしておいたため電池が液漏れしていたというケースも聞いております。そこで、**各ご家庭で乾電池を常備し、災害時や停電時のみ電池をセットする**のはいかかでしょうか。それだと電池も消耗せず、確実に防災無線の内容を確認できると思います。

②年度始めに地震・津波対応の家庭掲示用プリントをお渡ししましたが、改めて確認します。**震度6以上または津波警報、大津波警報で臨時休校、津波注意報で自宅待機**となりますので、今回のように連絡が伝わらない場合もあるかもしれません。連絡あるなしに関わらず、それを基準に対応をお願いします。

なお、**学習中に津波注意報が発令となり下校時刻になっても解除にならない場合は、保護者の迎えによる下校**となります。下校バスについて門静・苫多線の門静2丁目3丁目下車する児童、光栄線利用の児童についても保護者の迎えが必要となりますので、ご承知置きください。

### 11月のおすすめ本

担当：真龍おはなし隊 車塚香保里

#### 『ドラえもん 科学ワールドspecial』-はじめてのふしぎ-

まんが：藤子不二雄 監修：藤子プロ 日本科学未来館（小学館）

「勉強しなさい！」って言わない親、言われない子どもはいないのではないのでしょうか？勉強しないといけないのはわかってるけど、しなさいって言われると、嫌になっちゃうのはどうしてなんだろう……。本当は学ぶことって面白いはずなんです。子どもはある時期世の中の全てを不思議に思い、目につくもの全てに「どうして？」ってたずねてきます。わからないことを知りたいという気持ちが学びで、知らないことがわかったら面白いですよ。



そんな子どもが一度は不思議に思う謎に科学的に答えてくれるのが、この『ドラえもん 科学ワールドspecial』です。

科学やSF、不思議な現象が大好きだったドラえもんの作者、藤子・F・不二雄先生らしく、この本のために描いたんじゃないかと思う漫画とともに、最新の科学記事が載っているので、漫画を楽しく読んでいるうちに、自然と勉強できちゃいます。

ドラえもん科学ワールドはシリーズ化されていて、宇宙、恐竜、光と音、からだと生命など、子どもたちのなぜ？という疑問を、やさしくひもといてくれます。

科学のワクワクした気持ちを、親子そろってドラえもんを通して楽しく学んでみませんか？

### 参観日の日程変更について！

すでに別紙でお伝えしていたところでしたが、11月の参観日を変更致します。4月にお渡ししていた年間計画では、11月の参観日を27日でお知らせしていましたが、真龍中学校の公開研究会が重なったため、前日の26日に変更させていただきます。なお26日が1～4年生、30日が5・6年生の参観日となります。これも年間計画と若干変更しておりますのでご了承ください。27日は給食試食会の予定を入れていた学年もあり、変更について大変ご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。